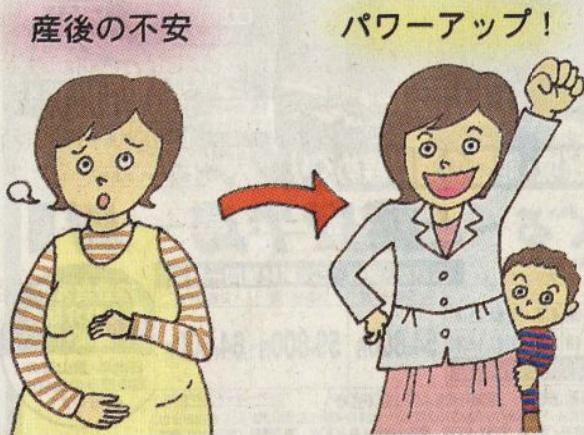


妊娠期間

今回は子育ての前段階、妊娠から考えてみます。働く女性にとっては一大事。まず「仕事をどうしよう」という課題が頭をよぎります。続いて浮上するのが、職場の誰に伝え るかということ。同僚、上司、取引先など、一般的には自分が休むことで迷惑を掛けてしまいそうな人から順に報告するようです。

勵マラ 處世術

> 6 <



イラスト・山口晴代

た期間があつたからこそ、仕事にも新たなテーマや視点、アイデアが生まれていつたことに気付きます。

出産経験を仕事の力に

復職すれば、もう独身時代とは違います。子育てをしていようが、与えられた条件の中で「仕事もしつかりできますよ」と、自身で証明していくしかないのです。わたしの周囲には、役職を一時的に落とされながら、出産経験で得た精神力で新事業をどんどん提案したり、社内環境を改善したりと、前向きに行動する人がたくさんいます。

産休を取って職場復帰した
ケースでは「要職から外され
た」「給料が減った」などと
不平を言う人がいます。でも
産休期間中には、間違いなく
誰かが代わりに仕事をしてく
れていきました。嘆く前に会社
や周囲に与えた影響を考え
みましょう。

「大丈夫」といくら伝えても、万が一を心配してか、負担の少ない仕事しか任せてもらえないなります。すると、「もつと仕事ができるのに」と焦り、果ては「必要とされていないかも」といった不安も生じます。マタニティーブルー特有のマイナス思考に陥ってしまうのです。

じました。